

会員建築作品紹介

鈴鹿明神参集殿

厚木支部 一級建築士事務所(株)キタムラ・アソシエイツ 北村 洋美

■概要

所在地：座間市入谷1-3500

〈参集殿〉

敷地面積：4922.96㎡

延床面積：1651.50㎡

RC造地下1階地上2階

〈廻廊〉（増築部分）

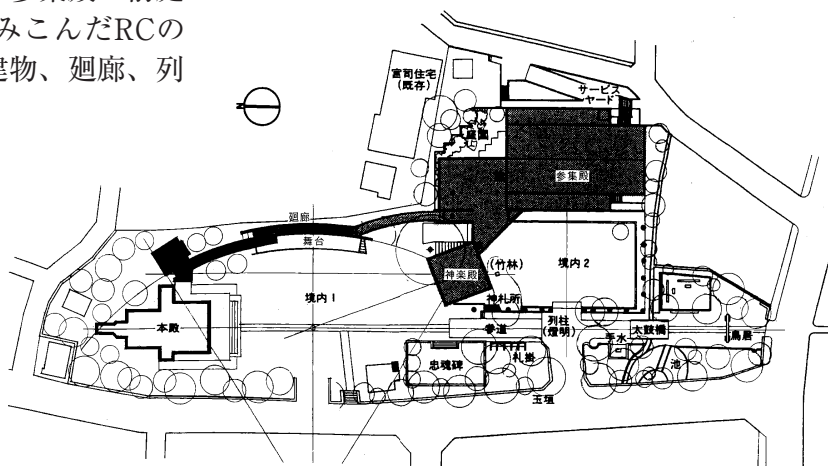
延床面積：174.30㎡

RC造+鉄骨造地上2階



1月号の表紙で鈴鹿明神社が紹介されたのをきっかけに、当社で以前設計した参集殿を掲載していただくことになりました。あらためて資料をみると当初計画にかかわってからはや30年がすぎており、時の経過に驚いております。計画をすすめた前所長、北村修一も故人となりました。参集殿は、結婚披露宴会場としても使用できる施設として計画され、1982年に竣工しました。神楽殿は1階は札所で2階の舞台は普段は記念写真をとるスタジオとして使用されています。境内は伝統木造の本殿と参集殿と神楽殿、そしてこれらをつなぐ廻廊という構成になりました。その後本殿のたてかえがあり、本殿の位置の移動に合わせて、廻廊も1993年に改修増築され二段のカーブを描く構成となりバルコニー状の舞台が設けられました。参集殿の前庭の駐車場（境内2）は照明を組みこんだRCの列柱が囲んでいます。これらの建物、廻廊、列

柱等により神社の境内という静謐な外部空間を創出しています。敷地全体は本殿から南へとやや下っており半階分の高低差があります。建物はこの高低差をとりいれた空間構成とし、エントランスロビーと神楽殿に対してほかの諸室は半階ずらしたスキップフロアとしました。神社の、元旦や節分、お祭りといった特別な行事の際には、境内に向いた神楽殿や廻廊の上の舞台などが華やかな演出効果を発揮しています。本殿での古式にのっとりした結婚式（巫女さんの雅楽に合わせた舞があります）の後、披露宴会場である参集殿へと花婿花嫁さんの行列が廻廊をわたっていくのは、実におごそかな神社の風景となっています。



配置 縮尺 1/1,600